



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2009.4.22 (No.2544) 週報 No.37

第2560地区ガバナー／馬場信彦
 会長／中村和彦
 会長エレクト／菊池 渉 (クラブ奉仕A)
 副会長／樺山 仁 (クラブ奉仕B)
 幹事／石月良典
 S A A／明田川賢一
 会計／杉山幸英

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)

■本日の出席会員数:59名中35名
 ■先々週出席率:80.36%

【先週のメイクアップ】

- [4.16] 燕RCへ
・加藤紋次郎さん
- [4.16] 三条東RCへ
・渡邊喜彦さん、西川文夫さん
・斎藤弘文さん、熊倉昌平さん
- [4.21] 三条北RCへ
・若槻八十彦さん、武田真二さん
・西川文夫さん、渡邊喜彦さん
・山田富義さん、小越憲泰さん
・石橋育於さん



「夢をかたちに」

2008～2009年度国際ロータリーのテーマ



ウンナンオーバイ

会長挨拶

中村和彦 会長

都道府県別ランキング シェア日本一



食品

①こんにゃく生産量……群馬県……90%
昔から産地として有名。食用として栽培されているのは日本と中国の一部のみといわれている。

②ミネラルウォーター生産量……山梨県……40%
土地のほとんどが山地のため、全国的に有名な湧水場が多く存在している。

③桜えび漁獲量……静岡県 静岡市……100%
国内では駿河湾でしか漁獲されず、特に由比漁港が有名。漁の歴史は100年と浅い。

④にんにくの生産量……青森県……75%
特に有名なのは田子町。冷涼な環境がにんにく栽培に適していたため、国内生産のほとんどを占めるようになった。

⑤養殖うなぎ生産量……愛知県 一色町……26%
明治27年に水産試験場が設置され、うなぎ養殖が始まったのがルーツ。

日用品

①畳生産量……熊本県……83%
熊本のいぐさ生産量は、1505年に八代郡千丁町の領主がいぐさ栽培を始めさせたことから始まる。

②爪楊枝出荷量……大阪府 河内長野市……90%
明治期に材料の黒文字が多く生えたことから生産されるようになったのが始まりと言われる。

③鉛筆削り用カッター生産量……神奈川県
川崎市……100%
国内で製造しているのが神奈川県川崎市宮前区にある株式会社カニエのみ。
年5000万個を生産している。

④線香生産量……兵庫県 淡路市……70%
淡路の線香作りは江戸後期に始まり、立地の良さから発展して全国的に広まっていった。

⑤トイレットペーパー生産量……静岡県
富士市……30%
平安時代に「駿河より紙を貢ぐ」と記されているほど製紙の歴史は古く、明治期に製紙会社が続々と誕生し発展を遂げた。

衣類その他

①靴下生産量……奈良県……36%
他地域の靴下生産量は九州地方産地が19%、関東地方産地が15%となっている。

②ゆかた取扱量……静岡県 浜松市……47%
毎年7月に「浜松ゆかたまつり」が開催されている。関東大震災を機に、職人が浜松に移住したのがルーツといわれる。

③眼鏡フレーム生産量……福井県……96%
明治後期に村おこしの一環として、大阪及び東京から技術者を呼び寄せ工場を建設したのが始まり。

④リボン生産量……福井県……90%
京都で細巾織物ほそはばおりものを学んだ職人達が、欧米文化の流入からリボンを作るようになった。

⑤学生服生産量……岡山県……60%
大正10年ごろ足袋の縫製技術を応用し生産を開始。現在は倉敷市を中心に50社ほどが存在する。

伝統工芸品

①だるま生産量……群馬県 高崎市……80%
高崎市内にある少林山達磨寺だるまじで張り子の縁起達磨が作られたのが始まり。

②金箔生産量……石川県 金沢市……98%
1593年、前田利家が、加賀藩に金箔の製造をするようにと言いつけたことから始まる。

③将棋駒生産量……山形県 天童市……95%
1831年、織田藩が家臣にその製造法を広く紹介して武士の内職として製造をさせたのがその発祥。

④そろばん生産量……島根県 横田町……70%
江戸後期に広島のそろばんを改良して作り始めたのが始め。
今では伝統工芸品に指定されている。

⑤扇子生産量……滋賀県 安曇川町あくもがわまち……90%
300年程前より、豊富な竹材を利用した扇子作りが始まったことに端を発する。

幹事報告

石月良典 幹事

◎次週4月29日(水)、次々週5月6日(水)は祝日で休会となりますのでよろしくお願い致します。

ニコニコBOX

中村和彦さん

先週の新竹城中RC懇親会、そして植田監督の講演会、とどこおりなく終わらせてもらいました。RCの皆様方に感謝します。

石月良典さん

植田監督講演会お疲れ様でした。
成田さん、本日はありがとうございます。

石塚欣司さん

長い間お世話になりました。
いろいろと勉強させていただきました。ありがとうございました。

杉山幸英さん

4/18の植田辰哉監督の講演会にご協力いただき、ありがとうございました。社会奉仕委員会より

菊池 渉さん

昨日は、次年度の新理事会を開かせていただきました。いよいよと、実感しています。よろしくお願い致します。

佐野勝榮さん

先週の新竹城中RC歓迎会には皆様に感謝申し上げます。彼等も喜んで帰国しました。

荻根澤隆雄さん

花冷えでしょうか、少し寒いですね!!
成田さんの卓話楽しみにしております。

丸山行彦さん

前米山奨学生のフロレン君より電話があり、5月2日に母国コートジボアールで結婚式を挙げるそうです。彼は名古屋で仕事をしていますが、結婚後は早く妻を日本に呼び寄せたいと言っていました。クラブの方々にもよろしくとのことでした。

平原信行さん

先週の夜例会で一年ぶりに新竹城中クラブの会員と交流できました。

成田会員、卓話ご苦労様です。

平沼潤一さん

新竹城中扶輪社ロータリーのメンバーと、雪の立山、御開帳の善光寺、五箇山の合掌造り民宿にお供しました。皆さん楽しんで、帰国の途についたようです。

松永一義さん

植田さん講演会ご苦労様でした。

成田さん、卓話ありがとうございます。

小林敬典さん

田母神俊雄さんの講演会の後援を当クラブよりいただき、ありがとうございました。

成田秀雄さん

今日は「私の生きがい」と題し、つたないお話をさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

小越憲泰さん、 帰山 肇さん、 高橋 司さん、
明田川賢一さん、 樺山 仁さん、 船越正夫さん、
斎藤弘文さん、 五十嵐昭一さん、 会田二郎さん、
若槻八十彦さん、 米山智哉さん

成田会員、卓話ご苦労様です。

楽しみにしています。

川瀬康裕さん

成田さん、卓話ご苦労様です。

都合にて早退致します。

卓 話

「私の生きがい」

た



成田秀雄 会員

今日は私自身、特に趣味についてお話をいたします。

とりとめのない話となるかも知れませんがよろしくお願ひいたします。

はじめに生い立ちから現在もやっているバンド活動について、次に45歳近くになってから始めた写真撮影について、最後に声楽やクッキングについてお話をいたします。

私は1957年、新潟県三条市門前町に生まれました。門前町と言いますと、北三条駅通り、小出整形外科クリニックの近所で、現在は元町となっております。隣の小島さんのおばあちゃんが産婆さんでありまして、病院ではなく自宅で生まれました。余談ですが、私の後に、小島さんのおばあちゃんが取り上げたのが北三条駅そばのお蕎麦屋さん、金子屋さんのご長男でして、当然ですが、幼稚園から一緒に、現在うちの会社と一緒に仕事をしております。縁というのは面白いなあと考えております。

松葉幼稚園、三条小学校から三中と進んで行くわけですが、うちの母親が音楽をさせたがりまして、幼稚園の頃からオルガン教室、小学校では器楽部、中学ではブラスバンドと音楽と関わってきました。小学校へ入ったときピアノを習うように強く勧められたのですが、泣いて嫌だと断り続けました。今から考えると習っておけば良かったなと思うのですが、もう後の祭りです。

私の音楽に対する大きな転換期は中学2年生の時です。クラシックギターを買ってもらい、ご多分にもれず、禁じられた遊びなどを練習していたのですが、吉田拓郎が大ブームになりました。ハマりました。自分から自発的に音楽をしたいと思います。クラシックギターをフォークギターに持ちかえ、拓郎のレコードを買いあさり、ついでに楽譜も買って、デビューアルバムから6枚目の「元気です」まで全ての曲を弾き語りできるようになりました。学校の仲間もみんなフォークギターを持ってやっていたので、全体朝礼で校長先生の話の後、ステージに上がり、全校生徒の前で拓郎の曲や高石友也の「受験生ブルース」などを歌いました。今考えると、学校側もよく許可したものだと思います。中学3年生になりますと仲間の中からエレキギターを持ち出し「たどり着いたらいつも雨降り」等を演奏し始めました。学内にロッ

4月22日分 ￥ 36,000
今年度累計 ￥984,000

クバンドが出現したのです。最初はフォーク対ロックだと頑張りましたが、音量とパワフルさの前に次々とフォークギターをエレキギター、ベース、ドラム等に持ちかえていきました。私も中学3年生の終り頃、仲間でロックバンドを作ることになり、とりあえずジャンケンで担当楽器を決めることになりました。私は、その時一番負けて以来35年間、エレキベースと付き合っています。

高校に進みましたら、何と教室の中でギターをかき鳴らして、がなり立てている輩がいます。早速友達になりハードロックバンドを組みました。そのバンドは高校3年の終りまで続きますが、その時ボーカルを担当していたのが、1年後輩ですが、南クラブの銅冶先生です。練習は早朝と放課後です。音楽室を借りて行っていました。このときバンドの大ピンチが訪れます。我々は品行方正に肅々と、清く正しくDeepPurple等のハードロックを練習していたのですが、当時、雷族とか名乗り、バイクで校庭を走り回る輩が出現しました。学校側は当然、その行為の中止を命じたのですが、こともあろうに連中は「俺たちがウルサイというならあいつらは何だ？」とまっすぐ音楽室を指差したのです。我々は先生たちに正当性を訴えかけたのですが、職員会議で1対その他全員で練習の禁止と決定されました。今のように音楽練習スタジオなど三条にはありませんでしたから、その後、練習もままならず、練習場所を求めてあちこちを転々としたことを覚えています。

しばらくの社会見学の時期を経た後大学に進みました。このときは大学に入らねばならぬ身ながら、音楽イベント会場、映画館、ロック喫茶、貸本屋に足しげく通い、観た無料コンサート50本以上、映画はイタリア前衛物やATG制作映画のほとんど全て等、300本以上、貸本屋に置いてあるほとんど全ての漫画、聞いたレコード200枚以上など、今考えるととても受験生のあるべき姿からは逸脱しておりましたが、なんとか捨てられる大学があり、入学しました。大学に入ったら、頭にはロックバンドの事しかありませんから、入学式の後すぐに音楽系サークルを探し軽音楽同好会に入部しました。当時私は生意気だったので、いじめにあい、なかなか辛い思いをしましたが、2年生の終半には何とか認めてもらい、副部長を任せられ、その後はコンテストに出場したり、ライブハウス等数多く出演しました。その当時、一番私をいじめていた先輩は、後に仲良くなり、たまに東京で飲んだりしていますが、当時から文才に長けておられて、現在、紅白歌合戦のシナリオ等を手掛けるシナリオライターとして、活躍しています。学生時代は明けても暮れてもバンド活動が全てでし

た。その内、作曲もするようになり、オリジナル曲を演奏しました。

大学は友人の助けもあり、なんとか4年で卒業できたのですが、その直前にある音楽プロダクションに所属することになり、卒業後1年間音楽活動をしていました。そのプロダクションには後にソウルオリンピックのテーマソングを歌う浜田麻里がいました。我々のバンドは私のオリジナルを演奏していたのですが、あるとき浜田麻里のバックバンドをやらないかと社長から言われました。私は自分の曲を演奏しなかったのが嫌だったのですが、他のメンバーはやはりメジャーになりたいということで受けることになりました。

運命は突然ドアを叩きます。そのころ父親からお前はその後どうするんだ、きっちり説明に來いと言われ、忘れもしない1983年3月5日に三条へ帰り親子対談を行う予定になっていました。その2日前の3月3日深夜、会社の事務員さんから電話がありました。「社長さんが倒れた、すぐ帰って来て。」脳溢血で私の父親が倒れたのです。東京では私以外のメンバーは浜田麻里のデビューコンサートに向けて、別のペーストを迎えてリハーサルを重ねていました。この時、何とか音楽の世界で生きていこうという野望を捨てました。

それからはしばらく父親の入院している病院で、リハビリテーションなどの付き添いをしながら将来について考えていました。父が若き頃より親しくしていた方が、千葉に病院を経営されていて、父がそちらにお世話になると決めたとき、伯父の会社に入社し、将来家に入ることを決意しました。

しかし音楽は捨てられません。趣味としてですが、高みを目指して新たにバンドを作り、仕事が終わるとその後集まって練習を続けました。そのときキーボードを弾いていたのが現在の私の奥さんです。三条に帰ってきてからもバンド活動は続け、年に2、3回ライブを行い、1999年にはCDも発売しました。その頃、以前プロダクションにいたときのメンバーはみんな演奏活動から離れ、音楽学校の先生をしたりしていました。そのとき思ったものです。あの時は事情で三条へ戻ってきたわけですが、帰ってきて良かったな。アマチュアだから、自分達がやりたいことを、誰に遠慮することなく演奏できたのだな、と。現在でも我々は東京のライブハウスへも、演奏に行きます。その時、有名歌手のバックをしている方々と一緒になることがあるのですが、仕事の時とは全く違う音楽を、活き活きと演奏されています。

我々のバンドメンバーは、みんな同年代ですが、気持ちはバリバリです。現在3枚目のCDを製作中で

あわよくば世界発売！と狙っています。インターネットを利用すれば、我々の楽曲をiTunesで販売することも出来るし、CDベイビーではCDを世界中に販売してくれます。昨年10月下旬、東京のライブハウスで1時間のステージを行いました。終了後、音楽を止めないで良かった、次も頑張ろう！と酒を酌み交わしながら、誓い合いました。野望は尽きるところを知りません。

さて、そんな音楽活動にも、一人ではどうにもならない部分があります。我々のバンド活動には自分自身のほかに、キーボード、ドラム、ボーカルと3人のメンバーが必要で、それぞれ考え方も違うと言うことです。実際に1999年にCDを発表した後、いろいろな事情でメンバーが抜け、活動が停滞してしまう時期がありました。その頃から写真を撮り始めました。何か一人で完結するものがやりたかったのかもしれませんが。また当時親しくしていた友人が、かなりのカメラマニアだったこともキッカケになっています。2001年2月にNikonの一眼レフを購入したのをきっかけに、本格的に写真撮影を始めました。

最初は手当たりしだいでした。友人を撮影したり、家の周りの景色を撮影したり、家の猫を撮影したり、花を撮影したりと、とにかく撮影して現像が出来るのが心から楽しかったように思います。主に雑誌や書籍を買って独学していましたが、2002年9月、友人に誘われて出かけた、コニカ主催「浪漫シンドローム」写真コンテストで準特選を受賞してから、一層向上心に目覚め、地元の写真教室に所属し勉強しました。2004年頃から、三条クラブメンバーで、惜しくもお亡くなりになった渋谷さんのスタジオにも通い、教えてもらいました。その甲斐あってか、2004年4月に花魁道中写真コンテストで優秀賞をもらい、2005年7月には、自分でも信じられなかったのですが、カメラのキタムラ写真コンテスト「春」自由作品の部で3万点以上の応募の中からグランプリをもらうことが出来ました。そこからは破竹の勢いです。2005年11月、新潟二科公募展に入選、2006年5月、新潟県展に入選、2006年7月、新潟県写真家協会展に入選とノリにノリまくりました。

しかしこのあたりから迷いが出てきます。何を撮って良いかわからなくなったのです。ちょうどこの頃バンド活動もヴォーカルに三条新聞の日下部君が復活して積極的に活動を再開したのも影響しているのかもしれませんが。全く写真が撮れなくなりました。2008年春にはそれまで通っていた地元の写真教室も年度更新を止めてしまいました。自分ではデジタル全盛に移行した写真界についていけないんだとか勝

手な理由をつけていました。

そんな頃Nikonのeニッコールクラブに出会います。インターネット上で作品を発表したり、有名な写真家の先生が添削してくれたり、盛りだくさんなホームページです。そこに掲載されている写真を見て思わず息を呑みました。森の線路の上を二人の少女が手をつないで歩いている写真なのですが、背筋に電流が走りました。自分も撮りたいと思いました。恐る恐る添削クラスに入り、作品を提出してみました。なるほどと思わせる厳しい評価が返ってきます。それからは人が撮りに行くから自分も撮りに行くではなく、自分が撮りたいと思うものを撮影することが大切と気づき、お猿さん等の動物写真、花の写真などを暇を見つけては撮影しています。最近ではデジタルフォトという雑誌のホームページ会員になり、ひたすら作品をアップしています。2月に雪の地獄谷野猿公苑へお猿さんに会いに行ったので、そろっと春のお猿さんにも会いに行こうかななんて思っています。なかなかこちらも奥が深く、道のりは遥かです。極めつけの1枚を追いかけて、立ち止まらずに続けて行きたいと思っています。

さてこのほかにも、クッキング、音楽、パソコンと楽しみは尽きないのですが、マジに下手の横好き的になっています。バンドの練習は週に1、2度あり、練習の後は必ず宴会です。また休日には別の友人が新潟からやってきます。そんな時、自宅の台所がキッチン成田に変身します。オリーブオイル、塩コショウ、またトマトソース、チーズを使ったイタリアン、ガーリックをタププリ塗った肉の塊をオープンに放り込んで焼くだけのロースト等など、ワインとともに夜遅くまで盛り上がります。なかなか味にうるさい連中が多く、そんなメンバーに美味しいと言われることに生きがいを感じ、常に料理の工夫を考えています。「今日の料理、美味しい、最高！」なんて言われると、心の底から嬉しくなり、次回は何を作ろうかななどと、早速構想を練ったりします。最近の不況のため、なかなか家計もピンチなので、安い材料で如何に美味しく、と心がけ、ワインも1本500円以下のものの中から、これはというものを探して楽しくやっています。

このところ少しお休みしていますが、一昨年から銅冶先生の勧めで長岡へ音楽を習いに通っています。なんとオペラです。昨年は三条市音楽祭、長岡のリリックホールでの発表会、新潟の音文で行われた新潟県音楽コンクールに出場しました。お腹のそこから声を出すのは気持ち良いことで、大好きです。しかし練習での録音を聞くと自分の未熟さに顔が赤くなる

思いをしますが、必ず成し遂げて見せると心に誓い頑張っています。

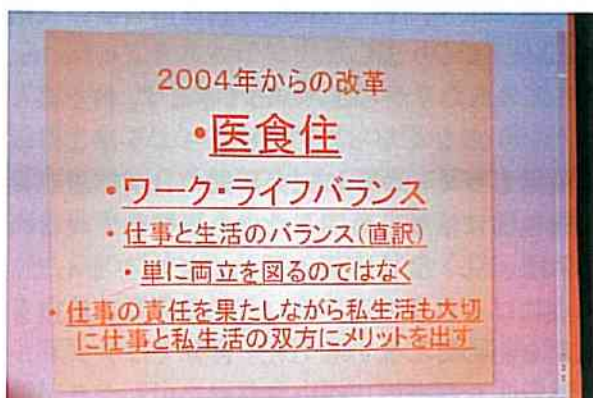
ほんとに取り留めのない話になってしまいました。まだ何もまとまらずにこの年になってしまったとの感もありますが、これからです。今年の目標はバン

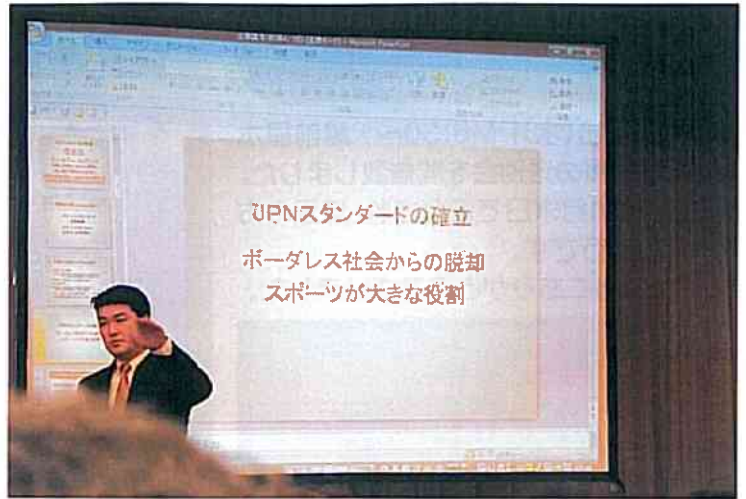
ドのCDをiTunesで販売できるように完成すること、写真は極めつけの1枚を求め、撮影を継続しホームページ、コンテスト等に発表し続けること。そのときそのとき充実した一瞬が出来るように仕事に興味に前向きに取り組むことです。ご清聴ありがとうございました。

〈植田辰哉監督講演会〉

去る4月18日(土)VIPに於いて社会奉仕事業として男子バレーボール日本代表監督の植田辰哉氏をお迎えし、小学校、中学校、高校と一般市民の方々を対象に開催致しました。

当日は晴天にも恵まれ、約500名の方々の参加がありました。当日お手伝いいただきましたRCの会員の方々ご苦勞様でした。





石塚会員送別会

4月22日(水) 於 越前屋ホテル

去る4月22日(水)PM6:30～ 越前屋ホテルで石塚会員の送別会を開催致しました。

石塚会員は4月末日で退会され、埼玉の方に行かれるそうです。

長い間、本当にありがとうございました。



5月のお祝い

◎会員誕生祝

- 1日 成田秀雄さん
- 8日 菊池 渉さん
- 17日 松永一義さん
- 17日 五十嵐浩さん
- 21日 若槻八十彦さん
- 22日 明田川賢一さん
- 24日 小林敬典さん
- 25日 船越正夫さん



◎夫人誕生祝

- 13日 平沼淳子さん (潤一)
- 15日 明田川みゆきさん (賢一)
- 16日 帰山 敬さん (肇)
- 17日 渡辺清美さん (稔)

◎結婚記念祝

- 1日 近藤雄介さん (律子さん)
- 2日 若槻八十彦さん (由美子さん)
- 5日 小越憲泰さん (百合子さん)
- 8日 佐野勝榮さん (美知子さん)
- 10日 加藤紋次郎さん (一代さん)
- 10日 野水文治さん (富子さん)
- 11日 伊藤寛一さん (美智子さん)
- 11日 米山智哉さん (永呂子さん)
- 13日 平沼潤一さん (淳子さん)
- 20日 菊池 渉さん (まゆみさん)
- 22日 五十嵐昭一さん (きみ子さん)
- 24日 阿部吉弘さん (香苗さん)
- 28日 会田二郎さん (陽子さん)

◎100%出席賞

- 4年 杉山幸英さん

次週例会 5月20日 会員卓話予定

次々週例会 5月27日 会員卓話予定

